



2022年3月期第2四半期決算説明資料



2021年10月27日
メタウォーター株式会社

<セグメント情報>

- プラントエンジニアリング事業(略語:PE事業):国内EPC事業、海外事業
当セグメントでは、浄水場内の浄水プロセス、下水処理場内の下水処理プロセス、汚泥処理プロセス、燃料化プロセスに使用する機械設備の設計・建設と、それらを運転、監視、制御するための電気設備の設計・建設を核とした各種エンジニアリングを主たる業務としています。
- サービスソリューション事業(略語:SS事業):国内O&M事業、国内PPP事業
当セグメントでは、浄水場、下水処理場、ごみ処理施設・リサイクル施設向けの機械設備や電気設備の補修工事、運転・維持管理(保守・点検)、運営などの各種サービスを主たる業務としています。

<語句説明>

EPC	Engineering, Procurement and Construction:設計・調達・建設
O&M	Operation and Maintenance:運転・維持管理
PPP	Public-Private Partnership(公民連携):公共サービスの提供に民間が参画する手法
PFI	Private Finance Initiative:公共施設の設計・建設、運転・維持管理、運営、資金調達に民間を活用する公共事業の手法
DBO	Design, Build and Operate:公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する公共事業の手法
コンセッション	公共施設の所有権と事業経営の認可を公的機関に残したまま、民間企業に事業運営権を長期間にわたって付与する手法

I 2022年3月期第2四半期決算ハイライト

II 2022年3月期通期連結業績予想および
「中期経営計画2023」目標の見直し

III 2022年3月期第2四半期決算概要ほか

I 2022年3月期第2四半期決算ハイライト

II 2022年3月期通期連結業績予想および
「中期経営計画2023」目標の見直し

III 2022年3月期第2四半期決算概要ほか

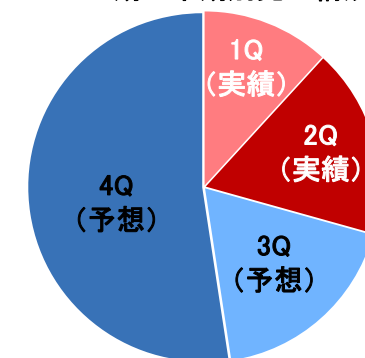
'22/3期2Q 決算ハイライト（連結）

* 受注高

前2Qとの案件構成の違いにより**前期実績を下回る**。

(参考)受注残高：'21/3期2Q末1,789億円 ⇒ '22/3期2Q末 1,959億円(+170億円)

'22/3期四半期別売上構成



* 売上高・利益

当社グループの事業は、国内公共事業が大半を占め、売上、利益が4Qに著しく偏る傾向があり、例年2Q累計の売上高は年間の25%程度。(当2Q累計の売上高も例年並みの水準)

当2Qは、海外子会社の新規連結、O&M、PPP事業の伸長により**増収増益**。売上高、各利益ともに概ね**計画どおりに推移**。

(億円)

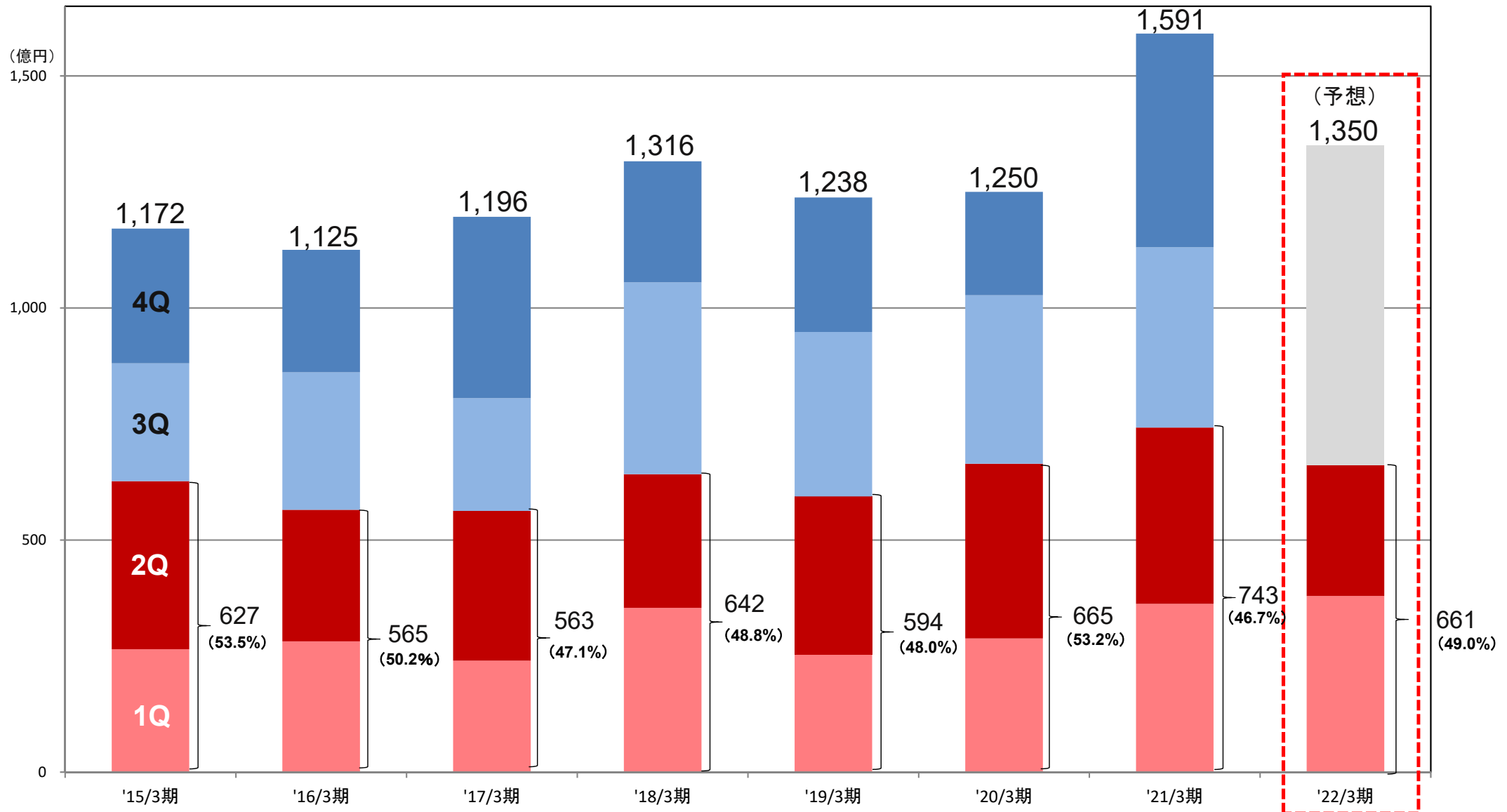
	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	第2四半期末 配当金(円)
'22/3期 2Q実績	661 前期比: ▲81 -11.0%	395 前期比: +55 +16.2%	-32 前期比: +2	-31 前期比: +5	-24 前期比: +3	20
'21/3期 2Q実績	743	340	-35	-35	-27	(株式分割前) 40

'22/3期2Q連結会計(累計)期間の期首より「収益認識に関する会計基準」などを適用。これにより、当2Qの売上高は30億円増加し、売上原価は25億円増加し、営業損失、経常損失、税金等調整前四半期純損失はそれぞれ4億円減少。また利益剰余金の当期首残高は2億円増加しています。

※10百万円単位を四捨五入(以降の実績値も同様)

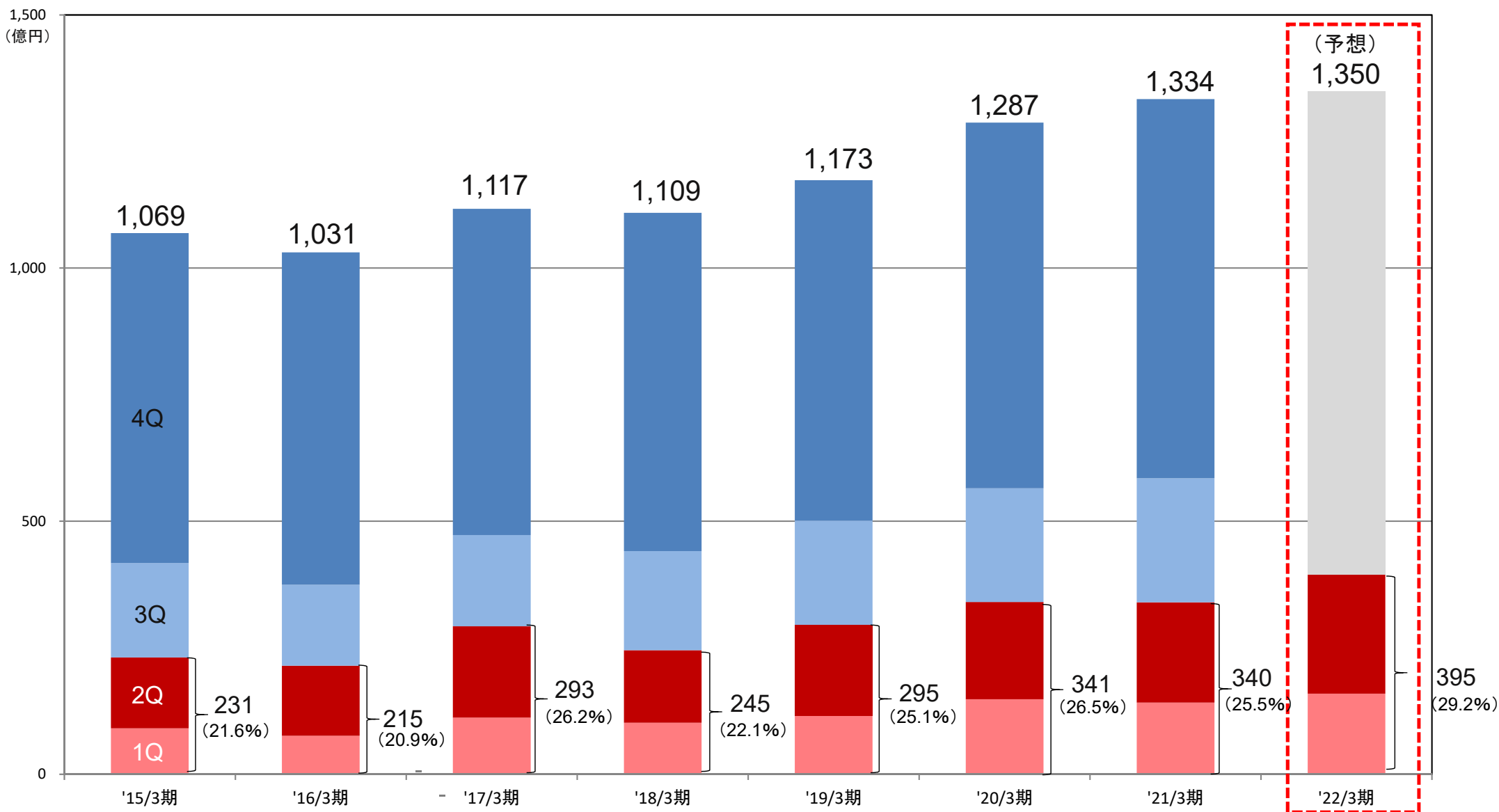
'22/3期2Q 受注高推移 (連結)

例年2Qの受注高は年間の50%前後で推移。当2Q累計も例年並みの水準。



'22/3期2Q 売上高推移（連結）

例年2Qの売上高は年間の25%前後。当2Qも概ね例年並みの水準。



事業活動

- * 「宮城県上工下水一体官民連携運営事業」における運営会社「株式会社みずむすびマネジメントみやぎ」と維持管理会社「株式会社みずむすびサービスみやぎ」を設立(5月) ※ 詳細はP23
- * 資金調達の多様化に向け、長期発行体格付*「A+」を取得(8月) *(株)日本格付研究所(JCR)による
- * 「下水道展'21 大阪」に出展(8月)
- * 個人投資家向け「さわかみファンド」運用報告会2021に出展(9月)

(参考)

- * 前中期経営計画で開発が完了した「オゾンAOP*技術」が水道用、産業用で各々受注(10月26日広報発表) *AOP(Advanced Oxidation Process: 促進酸化処理)

水道用: 茨城県 霞ヶ浦浄水場向け オゾンAOP高度浄水処理システム

産業用: NAGASEグループ ナガセケムテックス株式会社向け オゾンAOP設備

その他の主な活動

- * 「メタウォーターレポート2021」発行(8月)
- * 子ども向け、一般向け、教員向けに研修や水循環啓発活動を実施(7月～9月)
 - ・ 一般財団法人経済広報センター主催「教員の民間企業研修」を実施(8月)
 - ・ 「メタウォーター打ち水大作戦2021」を実施(8月)

(参考)

- * 新市場区分における「プライム市場」を選択し、東京証券取引所に申請することを決議(10月27日東証開示)
- * 自己株式の消却を決議(10月27日東証開示)

消却予定日	2021年11月19日
消却する株式数	4,000,000株*

消却後 発行済株式総数:47,758,500株

消却後 自己株式数: 4,196,032株(8.79%)

* 消却前の発行済株式の総数(51,758,500株)
に対する割合7.73%

I 2022年3月期第2四半期決算ハイライト

II 2022年3月期通期連結業績予想および
「中期経営計画2023」目標の見直し

III 2022年3月期第2四半期決算概要ほか

'22/3期通期連結業績予想の修正

【修正理由】

- * 宮城県上工下水一体官民連携運営事業の事業主体として設立したSPC*1は、当社の連結子会社となる予定。
- * 当該SPCが2022年4月からの事業運営開始に向けた準備費用(人件費等)を計上する見込みが判明したため、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の'22/3期予想を修正する。
- * 受注高、売上高は、期初予想に沿って推移する見通しであるため修正無し。

(億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり *2 当期純利益 (円)	1株当たり配当金 (円)	
							第2四半期末	期末
当初発表予想 (4月27日付)	1,350	1,350	85	85	58	133.23	20	20
今回修正予想	1,350	1,350	75	74	54	123.96	20	20
増減額	-	-	▲10	▲11	▲4	-	-	-
増減率	-	-	-11.8%	-12.9%	-6.9%	-	-	-
前期実績	1,250	1,334	109	111	65	150.50	(株式分割前) 40	20

*1 2021年4月27日公表「子会社(特別目的会社)の異動に関するお知らせ」をご参照下さい。

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS08491/68eb1fb1/859c/4251/9f62/8b9157a01862/140120210427401461.pdf>

*2 2020年10月1日付で1株を2株に分割を実施しております。

1株当たりの当期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

「中期経営計画2023」目標値の見直し

宮城県上工下水一体官民連携運営事業に係るSPCの新規連結を織り込み、'22/3期業績予想を下方修正する一方、「中期経営計画2023」の'24/3期の目標値を上方修正する。

【初年度】 2022年3月期 (億円)

(連結)	当初予想	見直し後予想	増減
受注高	1,350	1,350	-
売上高	1,350	1,350	-
営業利益 (営業利益率)	85 (6.3%)	75 (5.6%)	▲10 (▲0.7%)
当期純利益	58	54	▲4
ROE	10%以上	10%以上	-

【最終年度】 2024年3月期 (億円)

当初目標	見直し後目標	増減 (当初比)	増減 ('22/3期比)
1,450	1,500	+50	+150
1,400	1,450	+50	+100
100 (7.1%)	105 (7.2%)	+5 (+0.1%)	+30 (+1.6%)
70	72	+2	+18
10%以上	11%以上	-	-



I 2022年3月期第2四半期決算ハイライト

II 2022年3月期通期連結業績予想および
「中期経営計画2023」目標の見直し

III 2022年3月期第2四半期決算概要ほか

Ⅲ 2022年3月期第2四半期決算概要ほか

- 1 連結損益計算書
- 2 セグメント別概況
- 3 連結貸借対照表
- 4 連結キャッシュ・フローの状況
- 5 2022年通期業績に関する補足

連結損益計算書

(億円)

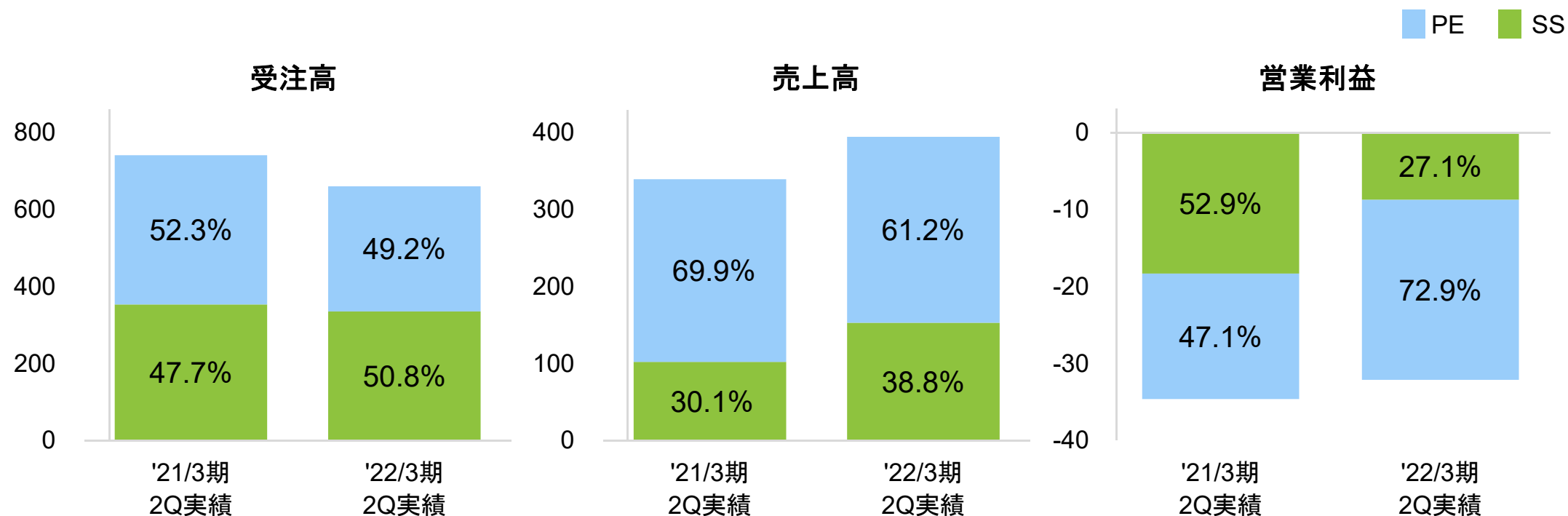
	'21/3期 2Q実績	'22/3期 2Q実績	増 減
売 上 高	340	395	+55
営 業 利 益	-35	-32	+2
(営 業 利 益 率)	-10.2%	-8.1%	+2.1%
経 常 利 益	-35	-31	+5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-27	-24	+3

* 10百万円単位を四捨五入(以降の実績値も同様)

セグメント別概況（連結）

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	'21/3期 2Q実績	'22/3期 2Q実績	増減	'21/3期 2Q実績	'22/3期 2Q実績	増減	'21/3期 2Q実績	'22/3期 2Q実績	増減
プラントエンジニアリング事業	388	325	▲63	237	242	+4	-16	-23	▲7
サービスソリューション事業	354	336	▲18	102	153	+51	-18	-9	+10
合計	743	661	▲81	340	395	+55	-35	-32	+2



セグメント別概況（連結）

（億円）

	受注高			売上高			営業利益		
	'21/3期 2Q実績	'22/3期 2Q実績	増 減	'21/3期 2Q実績	'22/3期 2Q実績	増 減	'21/3期 2Q実績	'22/3期 2Q実績	増 減
プラントエンジニアリング事業	388	325	▲63	237	242	+4	-16	-23	▲7
サービスソリューション事業	354	336	▲18	102	153	+51	-18	-9	+10
合計	743	661	▲81	340	395	+55	-35	-32	+2

プラントエンジニアリング事業

【受注高・受注残高】

受注高は、EPC事業の案件構成の違いから前期を下回った。
受注残高は、前期を137億円上回った。（'21/3期2Q末 936億円 ⇒ '22/3期2Q末 1,074億円）

【売上高・営業利益】

- ・EPC事業は、売上高および営業利益ともに前期を下回った。
- ・海外事業は、Wigen Companies Inc.およびRood Wit Blauw Holding B.V.を連結したことなどにより、売上高および営業利益ともに前期を上回った。

サービスソリューション事業

【受注高・受注残高】

受注高は、資源環境（リサイクル施設向けEPC）における案件構成の違いから前期を下回った。
受注残高は、前期を33億円上回った。（'21/3期2Q末 853億円 ⇒ '22/3期2Q末 886億円）

【売上高・営業利益】

- ・O&M事業は、売上高および営業利益ともに前期を上回った。
- ・PPP事業は、売上高および営業利益ともに前期を上回った。

連結貸借対照表

(億円)

	'21/3期 期末実績	'22/3期 2Q末実績	増 減
現金・預金	188	278	+90
売上債権・契約資産	784	382	▲402
棚卸資産	90	134	+44
その他	31	51	+20
流動資産計	1,093	846	▲247
有形固定資産	43	43	+0
無形固定資産	84	91	+7
繰延税金資産	27	26	▲1
その他	66	70	+4
固定資産計	219	230	+11
総資産計	1,312	1,076	▲236

	'21/3期 期末実績	'22/3期 2Q末実績	増 減
買入債務	363	166	▲197
短期借入金 ^{*1} ₍₉₎	14	₍₉₎ 16	+2
前受金・契約負債	127	147	+21
その他	122	78	▲44
流動負債計	626	408	▲218
長期借入金 ^{*2} ₍₉₀₎	103	₍₈₆₎ 95	▲7
その他	49	56	+7
固定負債計	152	151	▲1
負債計	778	559	▲218
純資産計	534	516	▲18
負債・純資産合計	1,312	1,076	▲236

*1 *2 : カッコ内の数値はPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの金額

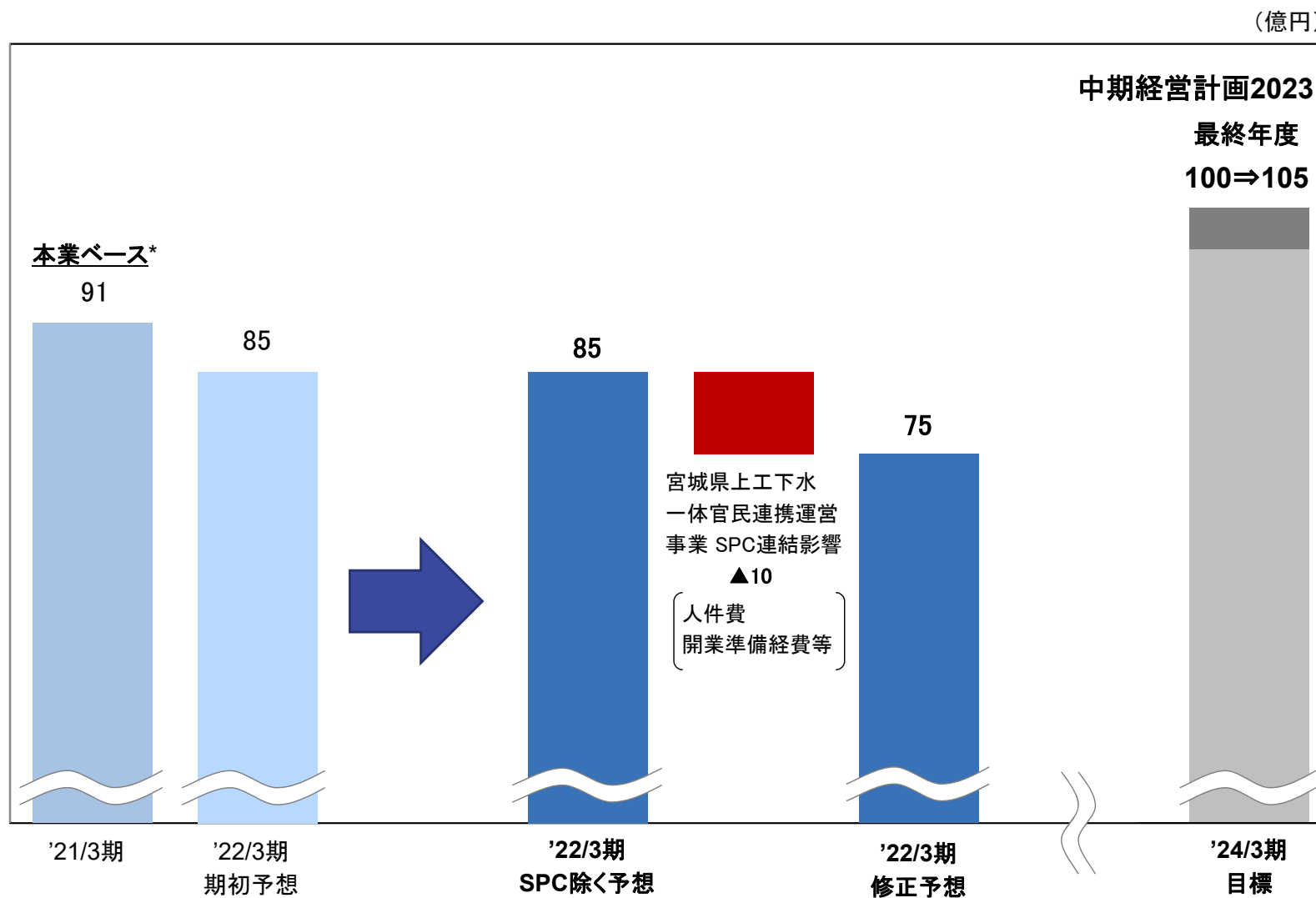
連結キャッシュ・フローの状況

(億円)

	'21/3期 2Q実績	'22/3期 2Q実績	増 減
現金・現金同等物の前期残高	129	180	+52
営業キャッシュ・フロー	189	126	▲63
投資キャッシュ・フロー	-33	-24	+9
フリー・キャッシュ・フロー	156	102	▲54
財務キャッシュ・フロー	-14	-14	+1
現金・現金同等物に係る 換算差額等	-1	2	+3
現金・現金同等物の期末残高	269	271	+2

営業利益増減要因

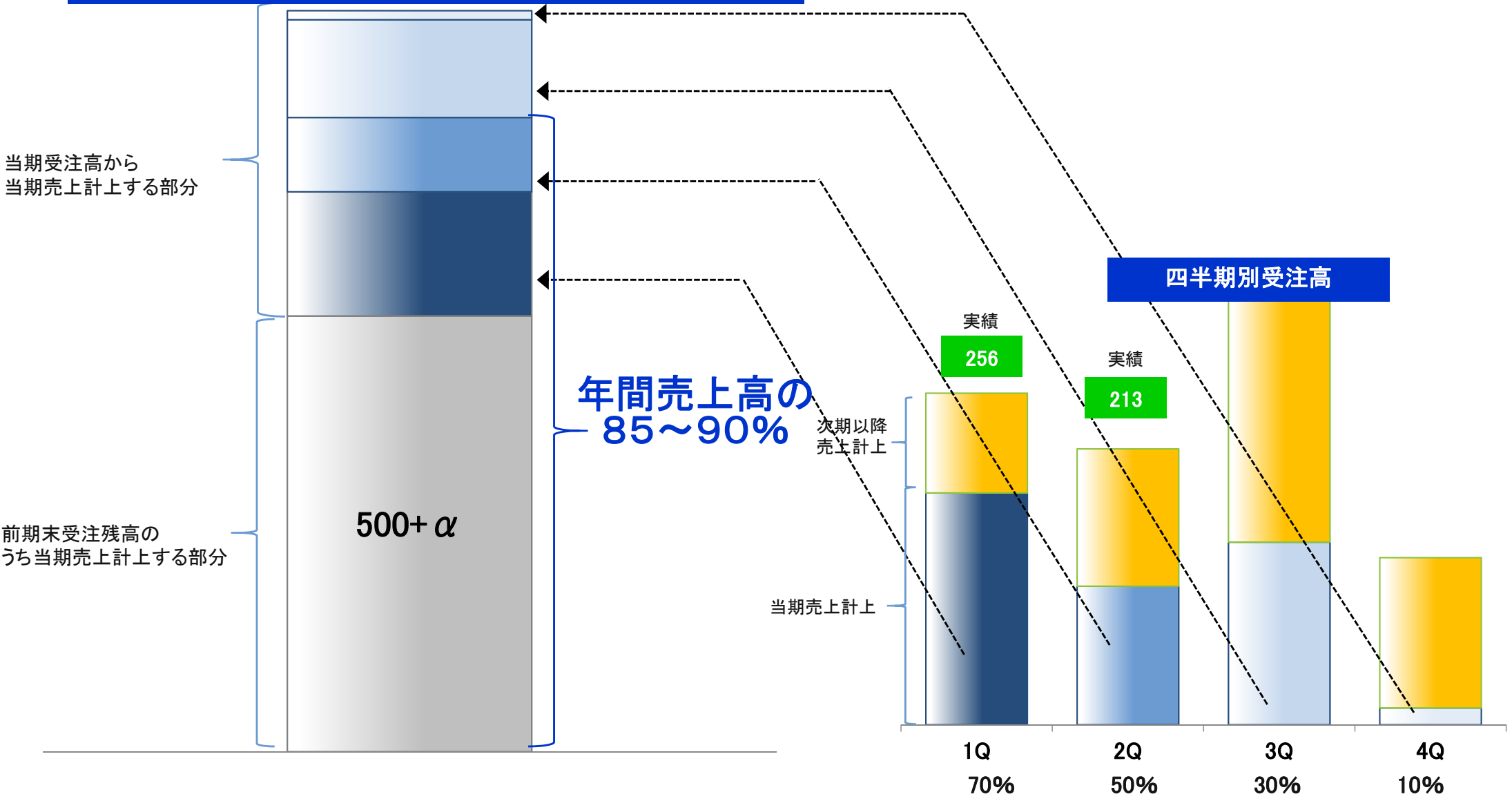
宮城県上工下水一体官民連携運営事業に伴うSPCの連結影響を'22/3期予想、'24/3期目標に各々織り込む。



*本業ベース:退職給付信託株式売却に伴う未認識数理計算上の差異の一括償却等の一過性要因を除く営業利益

‘22/3期の売上高構成について(単体)

‘22/3期売上高予測 1,050~1,070億円
(前期売上高実績 1,041億円)



ディスクロージャーポリシー

1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方にのっとり、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ることにより、当社グループに対する理解促進を図り、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法などの諸法令および金融商品取引所の定める規則などにより開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則などにのっとり、情報開示を行います。また、法令や規則などに該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様にも有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

3. 情報開示の方法

上記の法令や規則などにより開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則などで定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則などに該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページなどを通じて情報開示を行います。

4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答などを通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見などは、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算（四半期決算を含む）期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見通しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答など差し控えます。

6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標などのうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績などは様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションが図れるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



【本資料に関するお問い合わせ先】

メタウォーター株式会社 経営企画本部 CSR推進室 広報IR部

Tel:03-6853-7317 Fax:03-6853-8709 E-mail:pr@metawater.co.jp

【参考】宮城県上工下水一体官民連携運営事業

株式会社みずむすびマネジメントみやぎ		株式会社みずむすびサービスみやぎ	
所在地	宮城県仙台市青葉区立町27番21号	所在地	宮城県仙台市青葉区立町27番21号
代表	代表取締役社長 酒井雅史	代表	代表取締役社長 安東武智
事業内容	宮城県上工下水一体官民連携運営事業の事業主体として、3事業9個別事業(水道用水供給2事業、工業用水道3事業、流域下水道4事業)を実施	事業内容	宮城県上工下水一体官民連携運営事業の3事業9個別事業(水道用水供給2事業、工業用水道3事業、流域下水道4事業)における維持管理を実施
株主	メタウォーター株式会社 ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 オリックス株式会社 株式会社日立製作所 株式会社日水コン 株式会社橋本店 株式会社復建技術コンサルタント 産電工業株式会社 東急建設株式会社 メタウォーターサービス株式会社	株主	ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 メタウォーター株式会社 オリックス株式会社 株式会社日立製作所 株式会社日水コン 株式会社橋本店 株式会社復建技術コンサルタント 産電工業株式会社 東急建設株式会社 メタウォーターサービス株式会社

補足資料 案件リスト

工事受注(10億円規模以上)

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	北多摩二号水再生センター汚泥処理電気設備再構築その3	東京都	PE
	諏訪湖流域下水道豊田終末処理場電気設備工事その65	長野県	PE

運転・維持管理 新規受託／業務開始

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	青木浄水場更新事業 [業務開始(既受託分)]	新潟県	SS

受注(海外)

	案件名	国	セグメント
1Q	プノンペン下水道整備計画	カンボジア王国	PE
	江蘇省 無錫市 錫澄浄水場向け オゾン発生システム(2期工事)	中国	PE
	福建省 福州市 飛鳳山浄水場向け オゾン発生システム	中国	PE
2Q	Bonnycraig浄水場向け セラミック膜	英国	PE